



田園散居集落



里山景観

山形県 飯豊町



飯豊連峰



どんでん平ゆり園

飯豊町へのアクセス



飯豊町の概況

人口：7,943人（平成22年国勢調査、増減率△7.89）

面積：329.60km²（林野面積27,471ha 約84%）

基幹産業：農業

特産品：いいで米、米沢牛、どぶろく、こくわワイン、どぶろく関連商品、アスパラガス、山菜、ヤマメ、木炭、花笠、鳴き砂

名所旧跡：飯豊連峰、田園散居集落景観、天養寺観音堂、飯豊山穴堰、草木塔

『日本で最も美しい村連合』への加盟

◇素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある町村が、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、地域の自立を推進すること、また、景観や環境を守り、地域の特色を観光資源として付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展を目指しています。

◇地域資源

- ・田園散居集落と農業の営み
- ・飯豊連峰の自然景観
- ・中津川地区の里山景観と里山文化



the most beautiful
villages in japan

飯豊町

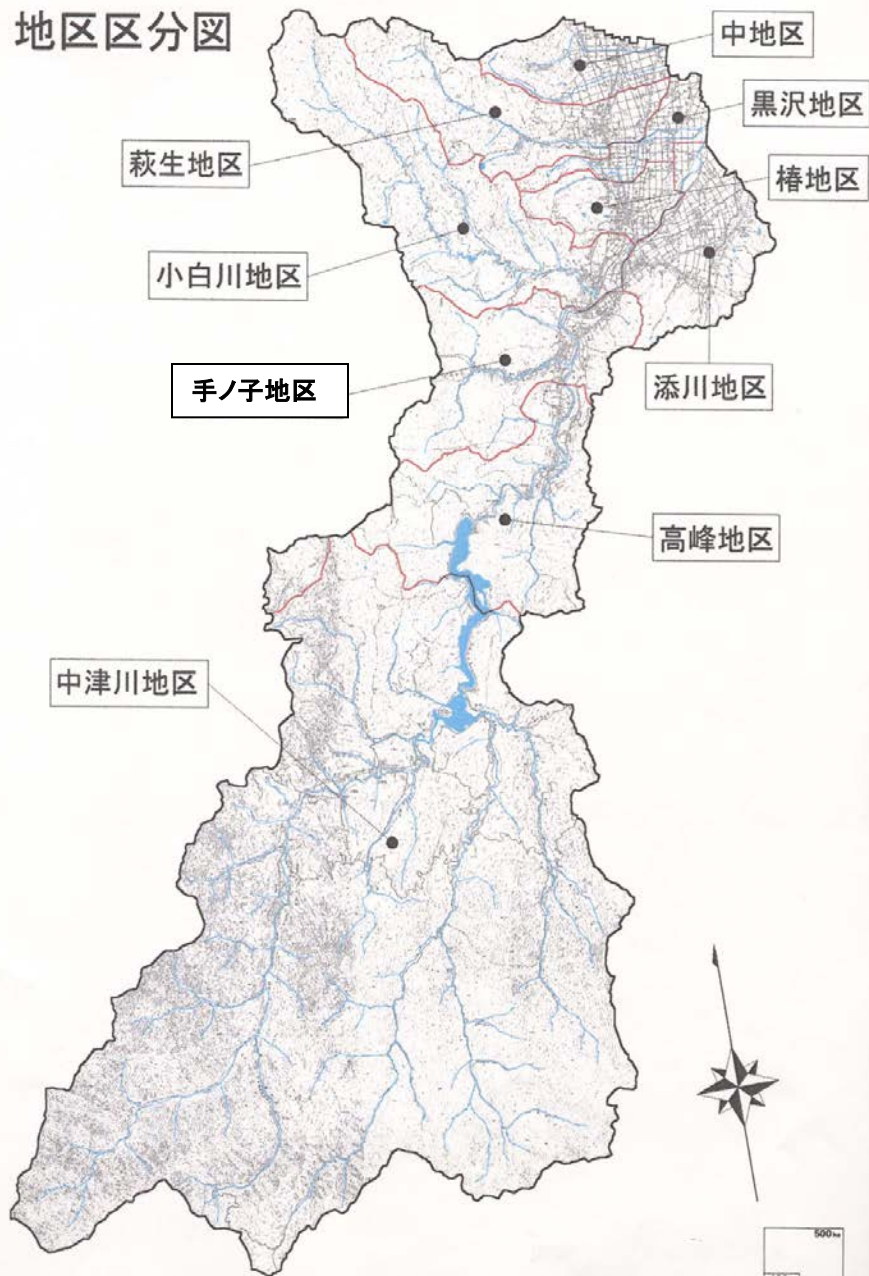
山形県

各地区世帯数及び人口

(平成22年国勢調査)

地区名	集落数	世帯数	人口	備考
中	7	269	1,010	
萩生	8	505	1,711	定住促進住宅(旧雇用促進住宅)を1集落としている。
黒沢	9	176	625	
椿	10	360	1,303	
高峰	5	115	422	
手ノ子	8	189	651	
小白川	7	163	624	
東部	9	330	1,269	特別養護老人ホーム入所の81人も含んでいる。
中津川	10	126	328	
合計	73	2,233	7,943	

地区区分図



第4次飯豊町総合計画

2011年～2020年

◇基本理念

「共生と自立、そして新たな躍動」

◇将来像

「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」
(基本理念と将来像は第3次総合計画を踏襲)

◇基本目標

- ・希望をいただき、にぎわいのまちづくりに
向かおう
- ・環境と循環、歴史と文化をたいせつにし、
明日をひらく産業を築こう
- ・人々の活力が地域を支える、あたたかい
まちをつくろう

地区別計画の推進（第四次総合計画）

◇地区別計画のアクションプランを作成



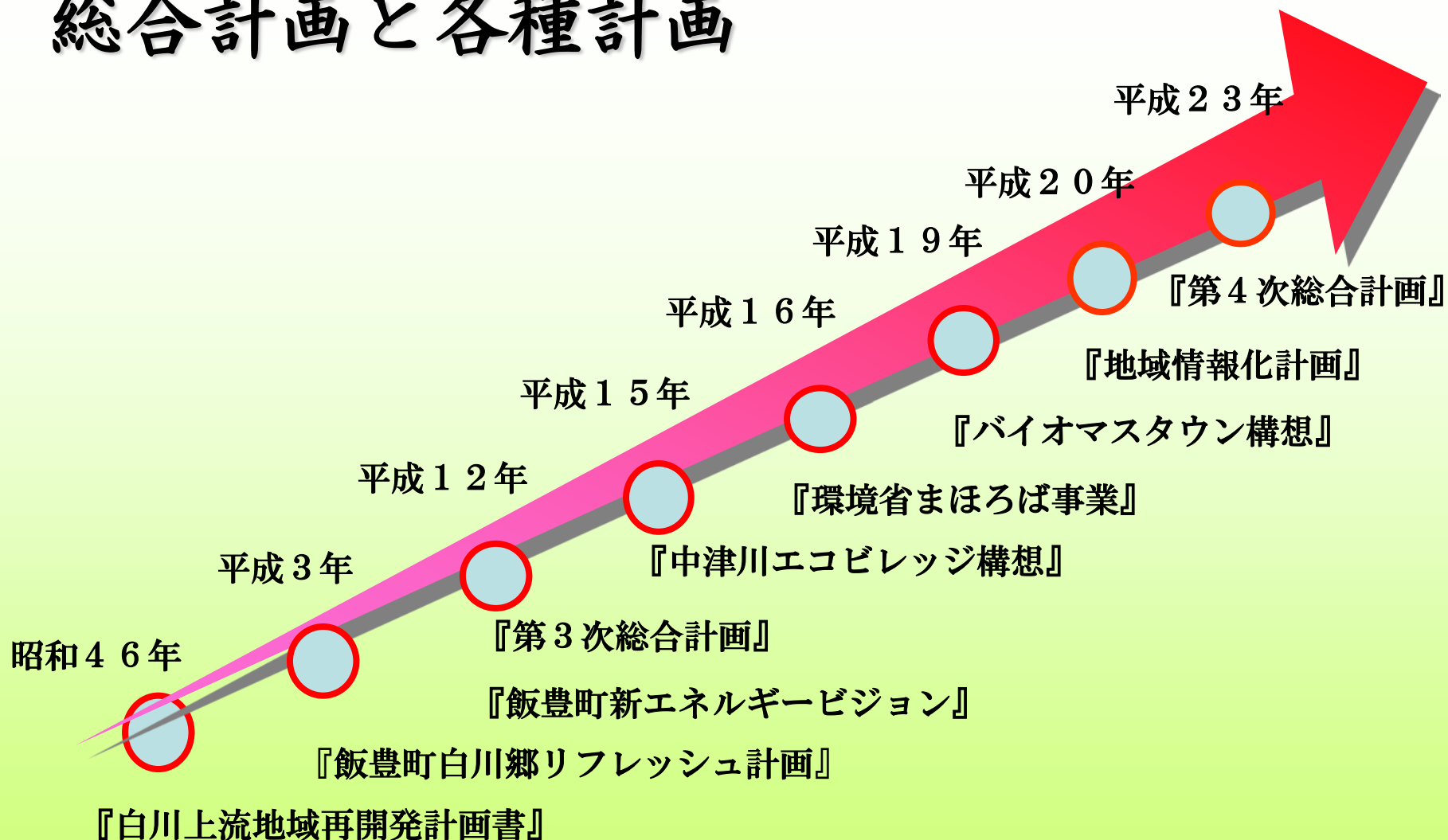
◇地域づくり推進事業

- ・地区の将来像に基づく計画的な事業の推進、地域活性化に結びつく地域づくり活動に助成

（平成23年度から5年間で一地区400万円を上限に助成）



総合計画と各種計画



農業の振興

飯豊産品ブランド化推進事業

- ・「米沢牛」の主産地であることや「どんでん平ゆり園」を有する町であることを活かすとともに、飯豊の自然風土に合った伝統作物や希少価値の高い作物の生産、品質や安全性を重視した生産を進め、飯豊ブランドの確立を目指しています。

自給力向上対策事業

- ・減農薬、有機肥料などによる特別栽培米の生産・奨励する農作物を転作した農家に対し町独自の助成を加えます。農家の所得向上と農産物の自給力向上を図っています。



飯豊町の特産品（米沢牛）

暮らしやすいまちづくり

デマンド交通運行事業

- ・タクシーの便利さをバス並みの料金で実現するデマンド交通。予約に合わせて、自宅や外出先まで車が迎えに来てくれて、運行範囲内の行きたいところまで運んでくれる大変便利な「乗り合いタクシー」方式のサービスです。3路線を、町内400円、町外600円という料金で自宅から目的地へ運行しています。



デマンド交通ほほえみカー

東山工業団地



- 国道113号線に隣接し、交通アクセスに便利
- 新潟、仙台間の中央部に位置する優れた立地条件
- 周囲の自然環境が抜群

所在地 山形県飯豊町大字添川(そえがわ)地内



総面積 29.1ha 分譲可能面積 0.3ha 分譲価格 5,500円/㎡(18,100円/坪)

アクセス

高速道路	国道	空港	港湾	鉄道
東北中央自動車道 上山I.C.	113号	山形空港	新潟港	米沢駅
50km ↑ 50分 ↓	10分 ↓	70km ↑ 80分 ↓	110km ↑ 130分 ↓	20km ↑ 30分 ↓

東山工業団地

東京から約380km 車約4時間 電約2時間40分 徒歩約2時間30分

団地概要

- 現況 ● 造成済
用途地域 ● 都市計画区域外
建築基準等 ● 建ぺい率/— ● 容積率/—
● N値/—
用水 ● 上水/8,272㎡/日 ● 地下水/—
排水 ● 置賜白川(企業内処理)
電力 ● 小松変電所(9,000kVA)から6km
通信 ● 光回線利用可
規制 ● 騒音規制/なし ● 振動規制/なし
緑地基準 ● 整備済
リース制度 ● なし

周辺図



区画図



優遇制度

*主なものを抜粋。詳細は事前にお問い合わせください。

	補助金等		融資	税	
	投資額・面積	雇用者		内容・限度額	課税免除
県	1億円以上	10名以上	固定資産取得額の5~20%・50億円	限度額10億円 利率0.9% 償還15年以内	不動産取得税 事業税
町	—	50名超	固定資産税相当額の1/3(3年以内)	—	固定資産税
国	300万円以上	3(2)名以上	雇用助成40~900万円(3年間)	—	特別償却・買換特例

地域情報

飯豊町(置賜地域)

人口	7,628人(地域 約22万人)
気候	平均気温10℃ 降水量1,995mm
製造品出荷等	222億円(H22工業統計)
学校	【地域】大学・短大2 高校15(うち工業3)
観光	ゆり園、温泉、わらび園、源流の森
特産物	どぶろく、米沢牛、飯豊米、鳴砂

山形県の人口と世帯数(H25.4)、気象庁(1981-2010)、H23山形県学校名鑑ほか



散居風景(春)

どんでん・平ゆり園

- お問い合わせ先: 飯豊町商工観光産業連携室 TEL.0238-72-2111(内線267) i-sangyo@town.iide.yamagata.jp
- 山形県工業戦略技術振興課 TEL.023-630-2690 ykogyo@pref.yamagata.jp

定住促進と子育て支援

いいですね定住推進事業

・「ふるさと定住いいですね条例」を制定し、Uターン者・新規就農者が町内に住宅を新築・購入した場合に100万円を限度として贈呈。（Uターン者の場合は、50万円限度）町内に居住する方が住宅を新築・購入した場合、最大で10万円を贈呈。さらに町内業者が建築する場合は最大10万円を贈呈します。そのほか、町内にお住まいの方が出産した場合、第1子は商品券3万円、第2子は商品券5万円、第3子以降は祝金17万円を贈呈します。また、町内にお住まいの方が結婚した場合一組につき祝品として商品券3万円を贈呈します。さらに、町内にお住まいで、小学校1年生、中学校1年生のお子さんを持つ保護者の方に祝品として商品券1万円を贈呈します。

木材製品利用住宅建築奨励助成金交付事業

・町内の建築業者により町内に新築される住宅で、町県内産木材を全部又は一部使用し、助成金対象経費が30万円を超えるものであること等の要件を満たすものに、助成金対象経費の1/2の額、50万円を限度として交付します。

子どもの保育料無料化拡大

・入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化します。保育園への複数人の同時入所の場合、2人目を1/3の額とし、幼稚園や児童センターへの同時入所の場合、2人目を2,500円軽減します。

保育園での産休明け保育

・出産後も仕事を続けたいという女性の仕事と育児の両立支援を図るため、特にニーズの高い産休明け保育（生後2ヶ月～6ヶ月）を実施しています。

子育て支援医療給付費

・対象を中学生までに拡大し、医療費は全て無料（自己負担分全額助成、所得制限なし）、入院時の食事負担金も支給します。



都市と農村との交流

グリーンツーリズム

・農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことで、飯豊町の風土や歴史が伝わってくる体験、緑を見る楽しさ、土地と触れる感動、雪と共存する生活、人とのあったかいコミュニケーション、ゆっくり、ゆったり、のんびりのぜいたくな旅をめざみの里グリーンツーリズム推進協議会が中心となり提供しています。

農家民宿

・中津川地区の10軒の農家民宿が、「なかつがわ農家民宿組合」を結成し、10軒が連携しながら、町の観光協会や地域住民たちの協力を受け、豊かな自然の中ではぐくまれてきた農業、そして素朴な農家生活をメインにした教育旅行の受入れなどに取り組んでいます。地域や家族に支えられ動きだした農家民宿の取り組みは、地域活性化、そして地域農業の振興を目指しています。

企業の森づくり

・日本通運などの企業が、飯豊町での森林育成活動をとおしてCO2削減など積極的に社会貢献活動を行ないつつ、従業員のゆとりと豊かさの実現や地域との交流活動などを通じ、地域社会への貢献を目指しています。

いいで“Fun” Club

・ダニエル・カールさんを会長に、自然豊かな飯豊町の四季折々の風景や地域に根付く風土や文化、食をもとに、そこに住む「いいで人」との温かい交流を通して心身ともにリフレッシュし、「めざみの里」を体感できる、飯豊町をこよなく愛する人たちの組織です。

いいで“Fun” Club
会員募集中！



会長 ダニエル・カール



企業による森林育成活動

いいでブランド



飯豊町商店街
飯豊町産品まるごとショッピング!



飯豊町の特産品



農家民宿

いいで“Fun”Club 会長の挨拶

飯豊町ファンクラブの皆さんへ、
どうもっす。もやーっとしたこの季節けど、
元気があつす。オラも元気だよ。
不景気の中、なんとなく生き残っている。
毎年と同じくらい忙しいけど、なんだか、
空振りが多い。まあ、頑張るっさやねーな。

特に暑い日は、この前の冬を思い出す。飯豊町で全町でぶるく大会に参加が出来た。ちよっと講演をしたあと、試飲会にも参加した。60何カ所のレシビを一口ずつ、と思つたら、とても飲み切れなかった。あの甘くて、ちよっと炭酸っぽい、口当たりは、たまらない。特に飯豊町の代表はトップクラスだった。

その翌日、またも飯豊町ならではの出来る初体験もした。スノーモービルに挑戦。真つ白い田園を小高い山の上から眺めたとき、改めて、感謝の気持ちわいた。30年近く前、飯豊町に出会えて良かったと思う。

いいで人

いいで
“Fun” Club
会員募集中!

会長
ダニエル・カール

いいで人



白川湖畔の交流施設



ホテルフォレストいいで



白川温泉白川荘



コテージ村木湖里館



白川湖パークゴルフ場

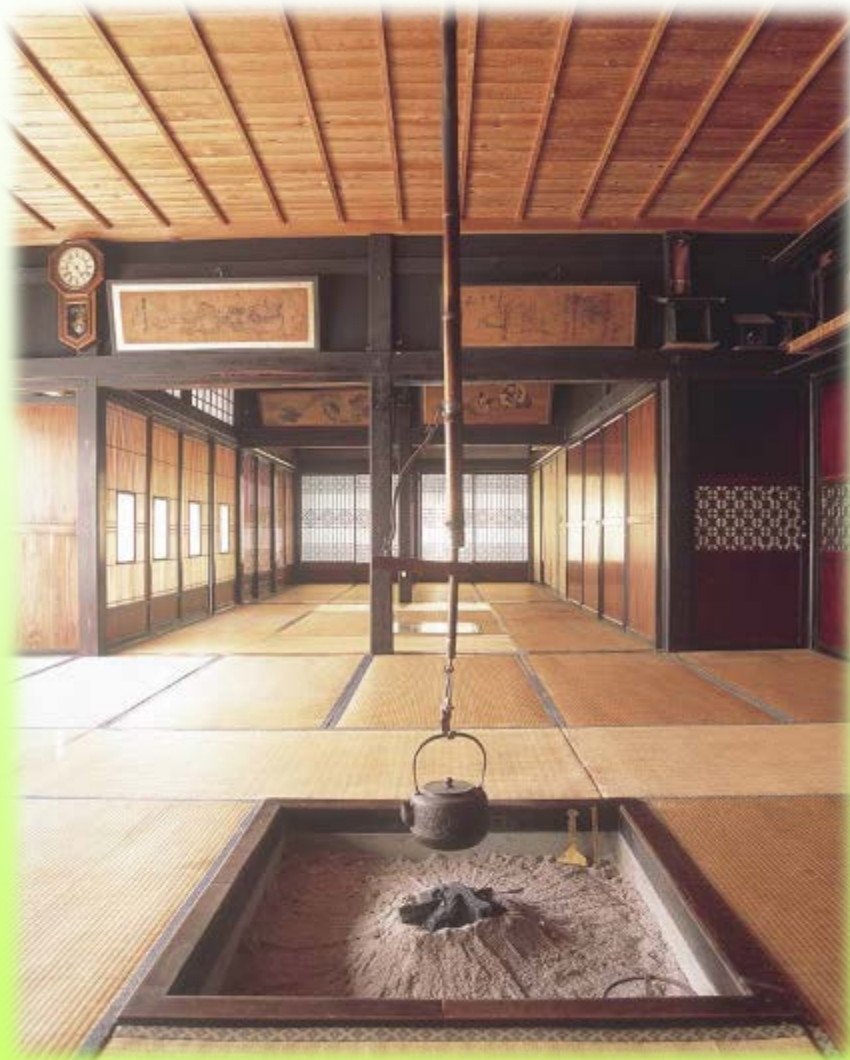


白川ダム湖畔オートキャンプ場



山形県源流の森

白川湖畔の交流施設



かやぶき民家



かやぶき民家



湯ノ沢間欠泉 湯の華



体験農園



岳谷釣り堀



観光わらび園



大日杉登山小屋

こだわりのなりわいを求めて



農家レストラン「エルベ」



農林水産物処理加工施設

お母さんの真心がスパイス
旬のイタリアン

正統派イタリアンで「FARM-ハウス」
というコンセプトで、
こだわりの食材と職人の技術が凝縮して
提供しています。毎朝の新鮮な「生パスタ」
「生パスタ」で仕上げたお母さん
の愛情です。

丹精込めて作った新鮮な調味料、新鮮な
食材で仕上げた「生パスタ」が、
ご来店いただき、体験して「FARM-ハウス」を
楽しんでいただければ幸いです。

- *本格石窯焼きピッツァ *パスタ *グラタン
- *お母さん手作り季節の雑炊(年中)
- *リゾートのロソク *ドライモートカレー
- *シーフードリゾ *キッシュのパイ *オードブル
- *ソフトドリンク *デザート *コーヒー
- *アルコール各種

営業時間 ランチ 午前11時～午後2時
(午後2時45分まで営業)
ディナー 午後5時～
ラストオーダー 午後9時
毎週月曜日定休日 休日はお盆・お正月・お盆



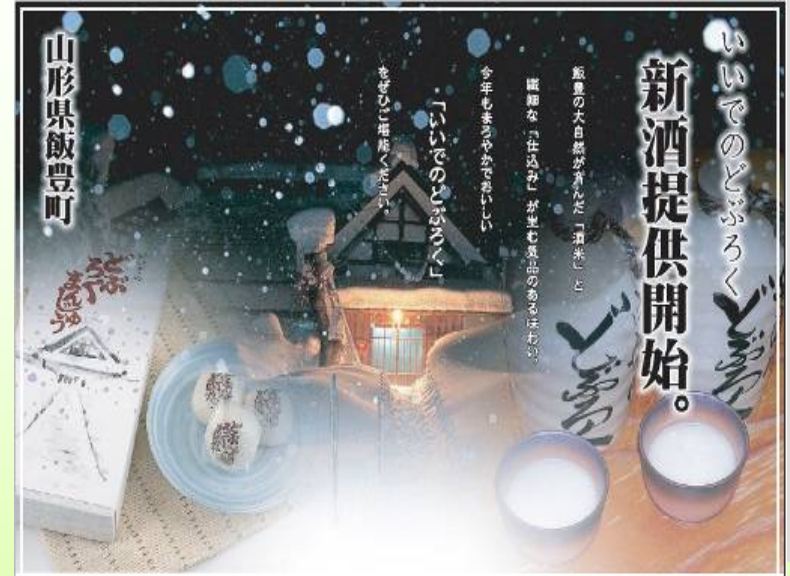
手打そば「高峰工房」



東洋のアルカディア郷再生特区

～どぶろく特区認定～ 平成16年3月

- 豪雪地帯特有の冬季を迎えると観光客が激減し、この解消が観光事業を営むものの大きな課題であり、郷土料理とともにどぶろくを提供する特区提案
- 農業を基幹とする地域であり、農村文化が脈々と受け継がれ、田園散居集落や飯豊連峰、里山景観に象徴される日本の原風景とふるさとの心が息づいており、農村文化そのものを提供することで、交流人口の拡大と滞在型の観光振興を推進



「どぶろく」を冬季観光の目玉とする

経済効果とともに
地域活性化

- ・多くの方を迎え入れ、農山村の食文化を楽しむ
- ・来訪者と住民との交流を深める
(双方で飯豊町の良さを再認識)

山形県飯豊町 in 飯豊
どぶろく 研究大会
2009 2/21+22
飯豊の海産物【いわて銀魚】
町長監製セクター【あまず】
2月21日(土) 2月22日(日)
D OMOS.JP

第4回全国どぶろく研究大会の開催

～平成21年2月 飯豊町に全国各地のどぶろくが集結～



全国15県24市町から29のどぶろく製造事業者や関係機関等の多くの人が参加し、「講演会」、「どぶろくコンテスト」や「情報交換会」などを行う。

どぶろくコンテスト（北海道から愛媛県までの全国から65銘柄出展）

濃醇の部最優秀賞：秋田県北秋田市のマタギの里観光開発(株)「マタギの夢」

淡麗の部最優秀賞：飯豊町の(有)いいで旅館「がまのどぶろく赤」

どぶろくを活用した特産品誕生！

どぶろくまんじゅう



どぶろくケーキ



やまめのどぶろく寒風干し



そして
どぶろくソフト
どぶろくラーメン
どぶろくカレー + c.

こくわワイン

平成23年
販売開始

こくわワイン

スパークリングワイン



2011年産
飯豊町こくわワイン
新酒試飲会

今年はスパークリングワインを試作してみました。限定でちょっとだけお楽しみください！

【日 時】
12月1日(木)
午後6:30~8:00

【場 所】
めざみの里観光物産館
(住所:飯豊町大字松原1898)
(電話:0238-86-3939)

会費:2,000円

主催:飯豊町こくわワイン販売促進会議 後援:飯豊町・JA山形おきたま
お問合せ:JA山形おきたま飯豊支店 TEL0238-72-2121

バイオマスタウン構想

◇バイオマスを活かした「まちづくり」

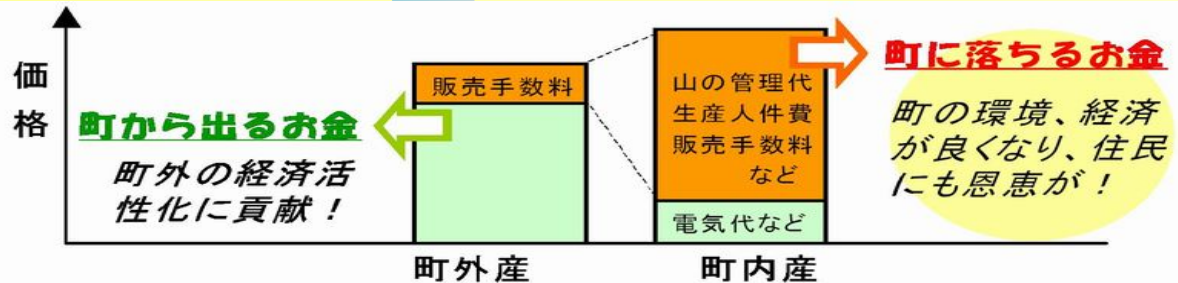
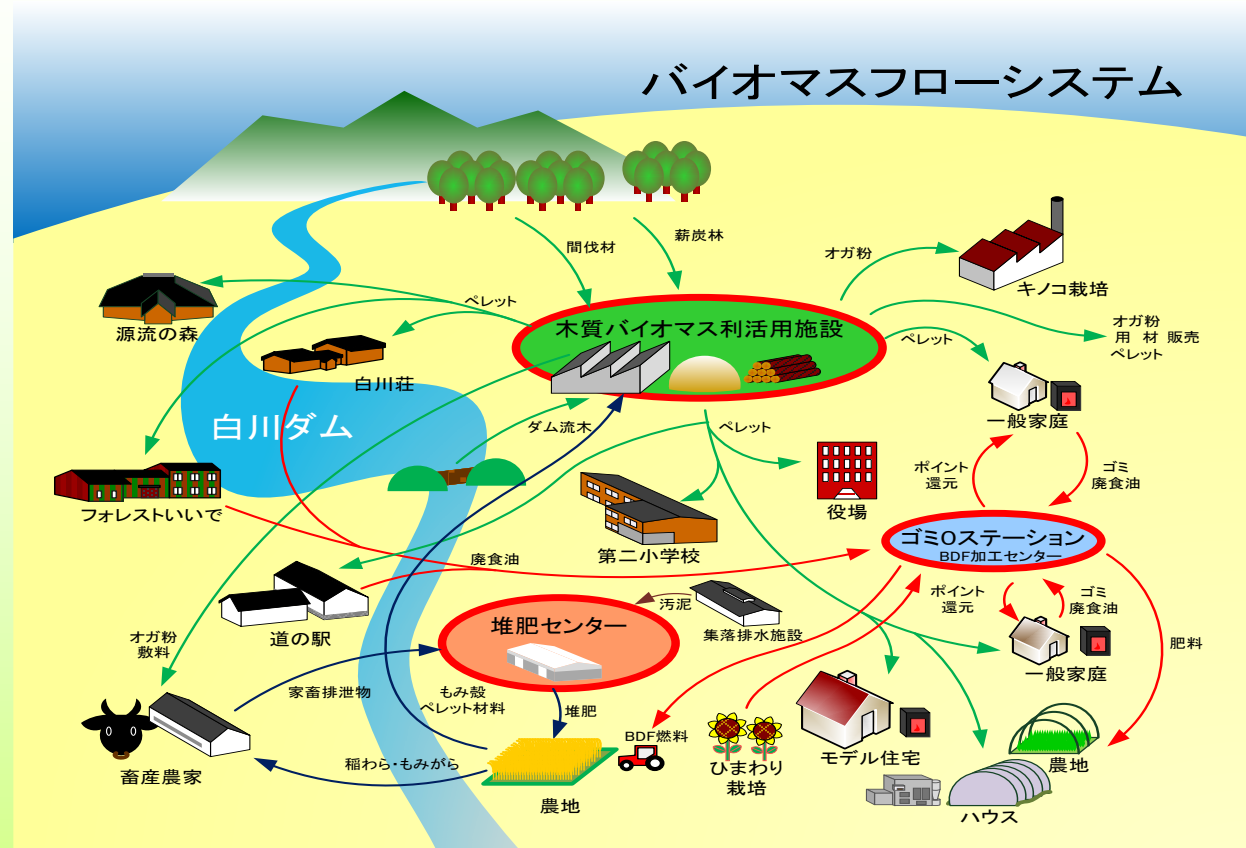
- ・ 農林業の振興と地域の活性化
- ・ バイオマス産業の活性化
- ・ 持続的循環型社会の形成
- ・ 地球温暖化の防止



◇地域資源・エネルギーの地産地消を推進

◇利活用促進プロジェクト

- ・ 木質系バイオマスの燃料化
- ・ 家畜排せつ物の堆肥化
- ・ 稲わら、もみ殻の畜産利用と燃料化



森林資源利活用プロジェクト

これまでの事業推進の状況（林業再生のための木質バイオマスの取り組み）

◇現 状：中津川財産区有森林面積は12千haと広大な面積を所有しながらも、積極的な利用が行われず、山間部の人口は激減し集落機能の低下が危惧されている。地区住民の共通財産として森林資源の有効活用が求められていた。

◇目 標：農林業の再生なくして山間部に定住人口を求めることは難しく、誇りを持って生業である農林業を営む人々を育むことにある。

◇木質ペレット生産事業の意義

- ・最上川源流域の水源地域保全のための森林の持続的な管理
- ・森林資源の利活用による林業の振興と地域の活性化
- ・新たな産業の起業化による雇用の創出
- ・資源循環による地域経済の活性化
- ・地域資源とエネルギーの地産地消
- ・エネルギー資源活用による循環型社会の形成
- ・快適な生活環境の実現など

森林資源利活用プロジェクト

これまでの事業推進の状況（林業再生のための木質バイオマスの取り組み）

◇現在までの取り組み

- ・平成12年：「飯豊町地域新エネルギービジョン」策定
- ・平成14年：「木質バイオマス起業化研究会」設立
- ・平成15年：木質燃料生産施設起業化調査／NEDO
「木質バイオマス起業化委員会」設立
- ・平成16年：木質ペレット等の生産にかかる事業化可能性調査／NEDO
- ・平成16年：「環境と経済の好循環のまちモデル事業」／環境省
～18年 〔エコスクール建設、環境共生型モデル住宅建設、ペレットストーブ導入、ペレットボイラー導入、雪室建設〕
- ・平成19年：「飯豊町バイオマスタウン構想」策定
：森林資源利活用調査／森づくり支援事業（県みどり環境税）
〔ペレット製造基礎調査、オガ粉製造基礎調査〕
- ・平成20年：木質バイオマス製造施設建設／地域バイオマス利活用交付金
- ～21年：運営母体となる「中津川バイオマス株式会社」設立
- ・平成24年：「飯豊型ペレットストーブ」販売開始
山形大学・山本製作所・町が連携して開発した

木質バイオマス製造施設

所在地 : 飯豊町大字宇津沢

敷地面積: 7,790^m²

事業費 : 345百万円

(地域バイオマス利活用交付金123百万円)

全景(体験農園周辺から)



チップストックヤード棟
(木造平屋) 200^m²

チップ2棟 オガ粉2棟



バーカー棟(木造平屋) 41.59^m²



左:トラックスケール棟 54^m²

右:管理棟 48.86^m²



製品保管庫(鉄骨平屋)



木質バイオマス製造施設

製作工場棟(鉄骨平屋) 569.40㎡



ペレット製造機械設備

製造能力 300kg/h

オガ粉製造機械設備

製造能力 5m³/h



中津川バイオマス株式会社

中津川バイオマス株式会社は、地区の森林資源の有効活用、新たな雇用創出、地域の活性化に向けて、地区内において十分に議論を尽くし設立されました。

○設 立:平成21年4月1日

○資本金:1,000万円

※ 中津川地区住民の出資により会社を設立

【業務の内容】

○中津川地区内の豊富な木材資源を利用し、ストーブ・ボイラー用 の燃料木質ペレット及びきのこ菌床用おが粉の製造、販売

○木質ペレットの原料は森林の立木を伐採

○なら、ぶな材を使用した薪の生産、販売

☆中津川財産区

実測面積11,368ha

(町面積の約34%)

(町森林面積の約41%)

飯豊町面積:32,960ha

町森林面積:27,692ha

(町面積の84%)



ペレットボイラー・ペレットストーブ

・町内における木質ペレットの需要先と使用量を確保し、二酸化炭素削減や環境に配慮した暮らしの意識を醸成



ハイブリッド・ペレットストーブの研究開発

持続可能な社会のために

現在の暮らしをそんなに変えることなく、地球環境を守ろう！
スローに流れる時間の中、ゆとりを持った暮らしを楽しもう！

飯豊型ペレットストーブ誕生！！

将来は、一家に一個、時代にあったクリエイティブなストーブを導入し、持続可能な社会の実現に！

未来には、かぎが、煙突に？

囲炉裏にストーブで心も身体も温かく！

屋敷林保全の取組

NPO法人「いいでいい住まい研究所」による屋敷林の枝打ち作業

※はしごの届く範囲での枝打ち作業



(枝打前)



(枝打後)

平成24年度より、NPOに対し「散居集落景観保全事業」として補助金交付
(1軒につき50,000円上限×10件分を予算措置)

有機肥料センター

・ 耕畜連携により、有機肥料センターで製造された堆肥を、農地還元し、特別栽培米「いいで米」としてブランド化（地域のバイオマス資源の循環）

①原料搬入・計量



原料を搬入後、重量と水分を測定しデータを管理します。

②混合攪拌



ショベルローダーにより原料と返送品などを混合し発酵槽へ投入します。

③高温好気性発酵



高温好気性発酵により雑草種子や病原菌などが死滅します。

④発酵棟



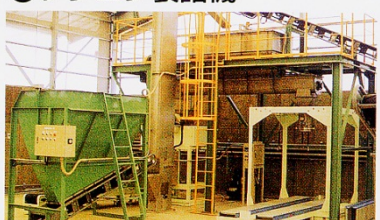
混合攪拌しながら、発酵槽を移動し45～60日で完熟した有機肥料を作ります。

⑤保管庫・バラ製品



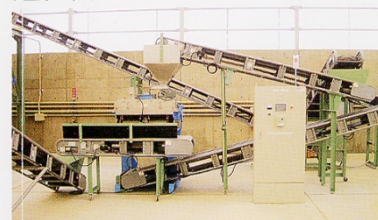
完熟した有機肥料は、製品保管庫にて保管し、フレコン・小袋・ペレットに分類します。

⑥フレコン袋詰機



製品を篩いかけ、小袋とフレコンに詰めます。

造粒機



5mm～10mm程度の大きさにし、取扱いしやすい製品にします。

ペレット製品



保管に便利で家庭菜園などに適しています。

飯豊町 肉用牛・乳用牛の推移

年度	戸数	総頭数	繁殖牛		和牛肥育		乳用牛戸数	乳用牛飼養頭数
			戸数	頭数	戸数	頭数		
H7	166	1,370	60	216	106	1,154	14	401
H12	103	1,696	44	159	59	1,537	10	369
H17	84	1,841	33	130	51	1,661	8	648
H21	74	2,451	35	365	39	2,086	7	670

(※繁殖牛は育成牛を含む)

<参考:置賜管内の状況(平成23年2月1日現在)>

区分		合計	飯豊町	米沢市	南陽市	高畠町	川西町	長井市	白鷹町	小国町
酪農	戸数	160	7	10	27	49	18	9	39	×
	頭数	7,676	690	1,232	1,353	1,632	262	414	2,085	×
	成牛頭数	6,049	547	982	1,126	1,335	215	293	1,545	×
	平均	48.0	98.6	123.2	50.1	33.3	14.6	46.0	53.5	×
肉用牛	戸数計	349	71	40	17	13	122	43	21	22
	頭数計	9,159	2,830	2,006	417	216	1,644	1,052	627	367
	繁殖戸数	217	31	26	8	7	107	10	8	20
	繁殖頭数	2,045	333	366	91	26	884	101	62	182
	肥育戸数	161	47	21	14	8	21	35	12	3
	肥育頭数	6,968	2,497	1,579	326	190	760	951	565	100
	繁殖平均	9.4	10.7	14.1	11.4	3.7	8.3	10.1	7.8	9.1
肥育平均	43.3	53.1	75.2	23.3	23.8	36.2	27.2	47.1	33.3	

<傾向>

○戸数については、年々減少傾向にある。

○肉用牛増頭意欲が強く、新規参入者や規模拡大指向の農家が現れ、繁殖・肥育とも飼養頭数は増加傾向にある。

○乳用牛については、大規模農場が経営を始めたことから頭数が大幅に増加している。

黒べこ祭り



第24回
いいで黒べこ祭り

イベント内容

- ☆飯豊町こくわイン・どぶろくの振る舞い
- ☆お楽しみ抽選会
- ☆牛肉店頭販売 ほか

※会場内への飲食物の持ち込みはご遠慮ください

※駐車場には限りがございますので乗り合わせでご来場願います

日時 平成24年7月1日(日) AM11:00~ (雨天決行)

場所 どんでん平ゆり園内
※会場の入り口は正面北側です

前売り券 4名様セット 12,000円
厳選された飯豊産米沢牛と野菜・飲み物付き

5月24日より前売り券販売開始!!
前売り券の詳細については「問い合わせ先」までご連絡ください

前売り券取扱所 飯豊町役場・町内各畜産団体・JA飯豊支店・飯豊町観光協会・ゆり園まで
問い合わせ先 飯豊町産業振興課 農業振興室 0238-72-2111 内線262・264
主催 第24回いいで黒べこ祭り実行委員会

飯豊産米沢牛消費拡大



○6月中旬～7月上旬にかけての日曜日に開催

(どんでん平ゆり園の開園期間)

○参加者:700名位

いいで秋の収穫祭

出店テントにての販売等・食育フェア



○11月3日(文化の日)

○町民総合センター「あ～す」



飯豊町のイベント



荒獅子まつり



SNOWえっぐ
フェスティバル



めざみの里まつり



獅子踊り



雪まつり

加工場・直売所

まだまだ少ない加工場・直売所



○ふるさとショップ(めざまみの里観光物産館隣接)

○しらさぎ荘内

○白樺公民館

○セルカ前

○どぶろく

○こくわワイン

○ジャム工房

○お菓子工房

○かたくりの会

雪室

・毎年降り積もる大量の雪を地域資源として位置づけ、雪冷熱エネルギーを農産物等の貯蔵に利用し、雪冷蔵農産物というブランド化やいいで型雪室建設のノウハウ蓄積により、農業振興と地域経済の活性化を促進



建築面積 204.54㎡

延床面積 163.96㎡

保管スペース 72.04㎡

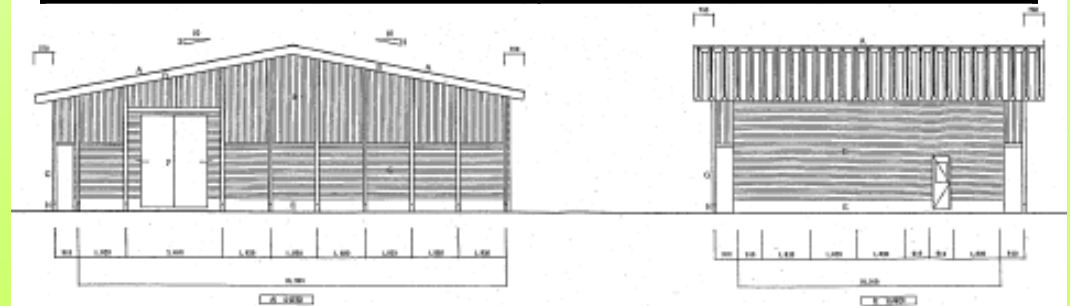
307.58m³

雪貯蔵スペース 81.98㎡

347.14m³

前室 9.94㎡

35.78m³



雪を活用

雪室に保存した農産物(雪室じゃがいも)

雪室に保存することで
⇒糖度が増す

山形県との連携



試験的に、中津川地区
の2農家でじゃがいもを
作付保存

多様なマッチング

イタリアンレストラン
アル・ケッチアーノ(鶴岡市)
奥田政行さんとの出会い

奥田さん
プロデュース
レストラン
での活用



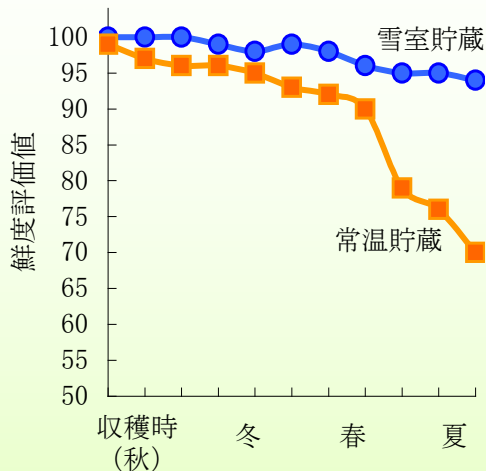
新たな農産物の
付加価値発見
そして、商品化へ
!

雪を活用

試験的に雪を残し、真夏に雪を活用した「SNOWえっぐフェスティバル」が誕生、さらには、自然エネルギーを最大限に利用した「エコ型低温保存施設」として雪室がつくられました。



- ♪ペットボトルサイズ
- 1.8kg(1升2合)
- 450g(3合)
- ♪品種
- つや姫・はえぬき・ひとめぼれ



自然の雪を活用した雪室で
新米の美味しさを
そのまま保管しました。

雪室に保存した
飯豊の
おいしいお米

雪室の中は、とっても冷たい状態で温度が安定しているため、鮮度を保ち、秋に収穫したときの米と変わらないおいしさを味わうことができます。その鮮度をより保つことができるように、ご家庭の冷蔵庫に保管しやすいペットボトル容器で皆さまにお米をお届けします。

伝統食など

持続的に暮らしの中で

- 農家民宿での提供
- 体験としての食づくり
- 家庭にある昔ながらの食

あずぎかぼちゃ

笹巻き

ひょう

漬け物

あかざ

のりもち

あたりまえ

ここに暮らす人の当たり前

→それが、当たり前ではない。

→貴重な資源

暮らしの知恵

生業を営み、暮らしを営む中に、知恵があった。

～もったいない～ 思いから

新たな試み 「柿」で産物と地域づくり

IIDE no UMÊ KAKI

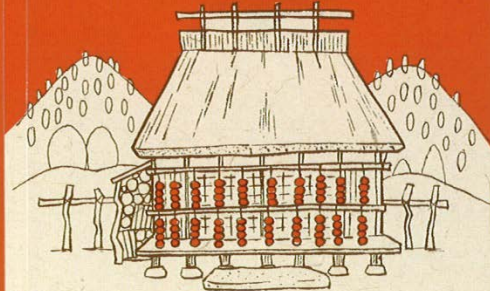
柿に真つ向勝負をいとむ青年。
このうめえ柿を広めたい。
そのひたむきな姿に、遠巻きに見ていた町の人たちも動きだす。
そしてようやく誕生したのがこのお菓子。
味はけっして斬新ではない。
あくまでも素朴で、だが噛めば噛むほど味が出る。
それは懐かしくもあたたかいふるさとの味だ。

柿の木会

柿の木会

飯豊町に限りませんが、高齢化と物余りの時代のため、多くの柿が収穫されずカラスの主食となっています。収穫されなくなった柿を何とか加工して、町のお土産にできないか、取り組んでいます。

飯豊町はあまり知られていないが東北でも有数の柿の産地。秋になると懐かしいぼつてりとした橙色一色になり、「これぞ日本のふるさと」と言った風景に生まれ変わる。しかし今や過疎化が進み、柿はカラスの主食となっていた。そこに一人の青年が現れる。
「こんなうめえ柿なのに…」
青年は誰よりもふるさとを愛し、誰よりもふるさとの味を知っていた。



商 品 の 案 内

柿羊羹



飯豊産の柿が入ったオレンジ色が鮮やかな羊羹。お茶の席のお菓子としてピッタリな一品です。

柿太福



あんに飯豊産の柿とクリームチーズを練り込み、餅で包んだ大福。甘すぎず、素材の風味が生きています。

冷やし中華



柿酢で冷やし中華のタレを作りました。サッパリとしていて、冷凍柿ものついでに見ても華やか。



柿アイス

店内のみの限定販売
イタリアンレストランのシェフが作ったアイス。ミルクアイスの白と柿の果肉のオレンジ色の組合せが鮮やかで甘さもちょうどいい仕上がりとされています。

柿のジャム



パティシエが作った柿のジャム。飯豊産の柿とパッションフルーツを合わせ、ヨーグルトやパンなどにも合う、さわやかな仕上がりとっています。

飲む酢



飯豊産の柿を使い作りました。スッキリとした後味で、夏にピッタリな一品に仕上がっています。

柿のお酒



毎年の月頒発予定
ほんのりと柿の風味がある口あたりまろやかで飲みやすいお酒です。(720ml)

日本で最も美しいむらの一つとして

田園散居集落と農業の営み



飯豊連峰の自然景観



里山景観と里山文化





◇小さくても素晴らしい地域資源を持つ飯豊町は、自らの町に誇りを持って自立し、景観や伝統・文化・暮らしなどを守りながら、これらを活用することで地域の活性化を図り、将来にわたって美しい地域であり続けたいと願っています。それは、飯豊連峰を背景にして伸びやかに広がる美しい町土、豊かな緑、そして人々の暮らしを支える清らかな白川の流れ、これらの美しい自然を活かしたまちづくりこそが、真のアメニティ空間であるという考えが根底にあるからです。環境と共生し、自然と人間の営みが長い年月をかけて作りあげてきた美しく豊かな飯豊町を次世代に継承するために。



the most beautiful
villages
in japan
「日本で最も美しい村」連合

